



## ロッドカッター

**【禁忌・禁止】****＜適用対象＞**

曲げ、切削、打刻（刻印）等の二次的加工（改造）をしないこと。〔破損等の原因となるため〕

**\*【形状・構造及び原理等】****1. 形状・構造**

製品名、製品番号、サイズ等については本体若しくは製品に同梱される一覧表に記載。

**2. 原理**

ハンドル部を持ち上げて押し下げることにより、脊椎固定用デバイスのロッドを切断します。

**【使用目的又は効果】**

ワイヤ、ピン又は締結部の切断に用いる。

**\*【使用方法等】****1. 使用前****1) 使用前**

- 本品には取扱説明書が用意されている。詳しい使用方法についてはこの取扱説明書を参照すること。（「保守・点検に係る事項」の項参照）
- 本品は未滅菌であるので、滅菌前に適切に洗浄し、無菌性保証水準（SAL） $10^{-6}$  が確保される条件により、滅菌を行うこと。
- 高圧蒸気滅菌の滅菌条件は、各施設で定められた基準に従って行うこと。
- 推奨滅菌方法は、以下のとおり。

	温度	時間
高圧蒸気滅菌	132℃	4分

**2. 使用時**

- ハンドルを持ち上げ、ロッドカッターの穴にロッドを挿入する。
- ハンドルを押し下げて、ロッドを切断する。

**\*\*【使用上の注意】****1. 使用注意**

- 工具に必要な以上の力（応力）を加えないこと。〔折損、曲がり等の原因になる恐れがあるため〕
- 術中、常に中空・溝付工具を洗浄し、組織等が詰まらないようにすること。
- ロッド切断時は、ハンドルとベースで手をはさまないように注意すること。

**2. 重要な基本的注意**

- 本品がハイリスク手技に使用された場合には、プリオン病感染予防ガイドラインに従った洗浄、滅菌を実施すること。
- 本品がプリオン病の感染症患者への使用及びその汚染が疑われる場合には、製造販売業者又は貸与業者に連絡すること。
- プリオン不活化の洗浄・滅菌条件  
（引用：プリオン病感染予防ガイドライン 2020 より）

洗浄	ウォッシャーディスインフェクターによる 高温アルカリ洗浄（90～93℃）
滅菌	オートクレーブ（134℃、8～10分間）

**【保管方法及び有効期間等】**

- 貯蔵・保管にあたっては、洗浄をした後、腐食を防ぐため保管期間の長短に係わらず必ず乾燥をすること。
- 貯蔵方法：高温、多湿、直射日光を避け常温で保管

**【保守・点検に係る事項】**

- 使用後は、できるだけ早く血液、体液、組織等の汚物を除去し、感染防止のために洗浄、消毒する。
- 浸け置き、洗浄、すすぎには常温の蒸留水を使用すること。
- 汚染除去に用いる洗剤は、洗浄方法に適したものを選択し、適正な濃度で使用すること。
- 汚染された工具は浸け置きした後、中性洗剤を使用して手洗いをすること。
- 汚染除去が困難な部分には、柔らかいブラシを使用すること。
- 洗浄装置（超音波洗浄装置、ウォッシャーディスインフェクター等）で洗浄するときには、可動部分は開放して、汚れが落ちやすいようにバスケット等に収納すること。
- 超音波洗浄装置を使用するときは、洗浄時間、手順等は使用する装置の取扱説明書を遵守し、器具の隙間部に異物等がないことが確認できるまで洗浄すること。
- 洗浄後は、腐食防止のために直ちに乾燥すること。
- 使用（滅菌）前に、汚れ、傷、曲がり、可動部の動き等に異常がないか点検すること。
- 点検後、セット・梱包をし、高圧蒸気滅菌をすること。なお、滅菌のためのセット・梱包にあたっては可動部を開放するなど、確実に滅菌できるよう配慮すること。
- 強アルカリ／強酸性洗剤・消毒剤は、器具を腐食させる恐れがあるので、使用を避けること。
- 金属たわし、クレンザー（磨き粉）等は、器具の表面が損傷するので汚染除去及び洗浄時に使用しないこと。
- 中空構造部分がある器具はその部分に柔らかいナイロンブラシを通して洗浄すること。

**【主要文献及び文献請求先】**

株式会社 日本エム・ディ・エム  
〒162-0066 東京都新宿区市谷台町 12 番 2 号  
電話番号 03-3341-6553（直通）

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

（製造販売業者）  
株式会社 日本エム・ディ・エム